

## 実践事例

- 1 世田谷区立山野小学校
- 2 立川市立けやき台小学校

推進校では、飼育動物の衛生管理を適正に行っていくに当たって、学校担当獣医師から飼育動物の健康診断や飼育環境についての指導・助言などの支援を受けています。



### 1 世田谷区立山野小学校

実施日：平成26年9月8日（月）  
14:30～15:15（第6校時）  
平成27年1月13日（月）  
14:30～15:15（第6校時）  
実施対象：飼育委員会の児童（27名）  
動物：ウサギ（1羽）



飼育委員の発表の様子

#### 【実践の概要】

- (1) 第1回（平成26年9月8日(月)）  
ウサギを見せながら、ウサギの生態や世話の仕方について、学校担当獣医師から指導があった。立ったままウサギを抱き上げるとウサギが逃げ出して落下し、足を骨折する危険性が高いことなどを知り、正しい世話の仕方を知ることができた。
- (2) 第2回（平成27年1月13日(月)）  
第1回の指導を受けた後の飼育活動（世話の様子、各学年の教室での広報活動など）について、飼育委員会の児童が学校担当獣医師に向けて発表した。児童は、学校担当獣医師から、動物の体重変化の記録、飼育小屋の温度・湿度の管理などについて、さらに詳しく助言をもらった。

#### 【学校担当獣医師との連携】

学校担当獣医師と飼育委員会担当教員2名と管理職で事前に打合せを行い、児童からの質問や当日の流れなど、詳細な内容について確認した。

#### 【児童の反応】

- 「動物が好きという理由だけで世話をしていたが、学校担当獣医師の話を聞いて、動物の気持ちになって世話をすることが大事であることに気付いた。」と言っていた児童がいた。
- ウサギの健康管理の具体的な方法を知ることができ、飼育委員の日常の活動の質が向上した。



## 2 立川市立けやき台小学校

実施期間：平成 26 年 11 月～12 月  
実施対象：飼育委員会の児童（25 名）  
動物：ウサギ（2 羽）

### 【実践の概要】

本校の飼育舎は校庭の隅にあり、児童・教職員が訪れにくいため、日頃、ウサギに関心を向けることが難しい状況にあった。また、気候の変化などでウサギの健康を害しやすい環境にあった。

そこで、夏季に校舎内での飼育に移行し、その間、日当たりの良い校門付近に新たな飼育舎を設置することとした。

その際に、飼育委員会の児童が木製のウサギの飼育箱を製作し、この飼育箱を新しい飼育舎に設置することで、飼育環境の改善を図った。

### 【学校担当獣医師との連携】

学校担当獣医師に飼育環境の現状を把握してもらい、新たな飼育舎の飼育環境や飼育箱の改善点についての助言を受けた。

### 【児童の反応】

- 校門付近に飼育舎を移動したことにより、ウサギへの関心が高くなった。
- 自分たちで、飼育箱を製作したことで、ウサギへの愛着や関心が高まった。



旧飼育舎における飼育の様子



飼育箱を製作する児童

